

4年生 総合的な学習の時間 学習指導案

橋本市立高野口小学校

指導者 岩本 吉翔

1. 単元名 「マネータウン☆チャレンジ」

2. 単元目標

- ◎ お金の使われ方や役割について関心をもち、個人とお店のお金の流れや仕組みを理解するとともに、生活や地域とのつながりの中でその意義を正しく捉えられるようにする。(知識・技能)
- ◎ 「マネータウン☆チャレンジ」などの体験的・協働的な活動を通して、お金の増やし方について多面的に考え、自分の考えを表現する力を育てる。(思考・判断・表現)
- ◎ 自分や他者、地域を大切にしている心情を養い、身の回りの生活や地域に目を向けながら、自分たちのまちに対する関心や誇りをもち、よりよい未来をつくらうとする意欲をもって学習に取り組む態度を育てる。(学びに向かう力・人間性等)

3. 指導にあたって

将来の夢についてたずねると、「将来の夢はお金持ちになること」と答える児童が何人かおり、お金への関心はある一方で、「お金を持つことが人生のゴールである」と捉えている様子が見受けられる。そこでお金を持つことによって将来の選択肢が広がること、また、お金を増やしてお店で使うことによって、社会の中でお金が循環し、個人とお店の間でお金を通して両者の利益を追求しているということを学ぶことができる単元を設計した。本単元はお金を題材にした学習であるが、単なる「貯め方・使い方」とどまらず、社会の仕組みやお金の循環、お金の増やし方を学ぶ総合的な学びとして位置付けている。単元内で実施する「マネータウン☆チャレンジ」では、仮想の「お金」を用いることで、家庭環境に左右されることなく、すべての児童が平等に参加できるよう工夫されている。この「マネータウン☆チャレンジ」を核に、体験的・協働的に学習することで、児童の関心を引き出し、金融リテラシーを育むことを目指す。また、日々の生活の中で使われているお金が、社会全体で循環しながら地域のつながりを支えていることに気づき、人々が支え合って暮らしているという社会の構造にも目を向けられるようにしていく。

さらに、4月に実施した「まち歩き」では、「高野口町には何もない」と感じたり、「自分たちの町が好きではない」と答えたりする児童の割合が高く見られた。地域の魅力や役割に目を向け、自分たちの住む町に対して誇りを持つきっかけとすることも、この学習の大切なねらいの一つである。この学習を通して、児童が「お金があること」の意味について深く考え、自分や周囲、そして地域の未来を大切にしている意識を育てていきたい。学びを重ねる中で、自分たちの町に目を向け、誇りと責任を持って社会に関わろうとする姿を育てていく。

4. ESDとの関連

・本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

相互性・・・お金を通して人と人、人と町が関わり合い、繋がっていること。

有限性・・・私たち一人ひとりが使えるお金には限りがあり、正しく使わないとお金の無駄遣いに繋がってしまうこと。

責任性・・・お金を使うことには責任が生まれてくるため、十分に考えて使わないといけないこと。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

批判的に考える力

お金の消費、貯蓄、投資の仕方は人によって様々だが、自身が行っている方法が正しいのかを批判的な目で見て、お金を正しく使えるようにしていく。

未来像を予測して計画を立てる力

自分自身がどのようにになりたいのか将来を考え、目標を達成するためにお金の使い方を計画する。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

幸福の追求

お金がある状態が人生の選択肢を増やすことができ、自身の幸福度を高めることができる。

・達成が期待される SDGs

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・お金の役割や流れについて基本的な仕組みを理解している。 ・人とお店の間にあるお金の循環に気づき、自分の言葉で説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた条件の中で、お金をどのように使えば個人とお店の利益の追求が行えるかを考えている。 ・自分の考えを根拠とともに発表したり、グループで共有したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネータウン☆チャレンジや話し合い活動に積極的に参加している。 ・自分たちの町に誇りや関心を持ち、もっとよくしたいという思いをもって学習している。

7. 単元の指導計画(全5時間)

時間	単元	学習活動
1	お金ってどんなもの?	<ol style="list-style-type: none"> 1. お金を使うときはがまんする派?すぐ使っちゃう派? 2. お金の役割って何だろう? 3. 歴史を見てみよう。 4. こんなお金があったらいいな。
2	お金が社会をめぐってる	<ol style="list-style-type: none"> 1. お金はどこからやってくるのか 2. お金はどこへいくのか 3. お金は回っている?! 4. 銀行や税金とは何だろう
3	まちづくりをしてみよう	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「マネータウン☆チャレンジ」(疑似体験ゲーム)をしてみよう 2. 分析 3. どんな作戦がよいのかを考える(まとめ)
4	より良い買い方・増やし方でまちづくりに貢献しよう	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第二回「マネータウン☆チャレンジ」 2. 分析 3. 「消費・貯蓄・投資」の違いについて知る 4. まとめ
5	よりよいまちをめざすために	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1回目の結果と2回目の結果を振り返ろう。 2. これからお金を使うとき 3. お金を使うときはがまんする派?すぐ使っちゃう派?

8. 本時の展開 (3/5)

時間	授業の展開 ●児童の主な反応	・指導上の留意点 ◇評価【観点】
1分	本時の確認	
3分	買い物の仕方の確認(どこへ買い物に行く?) ●「松源によく行く」 ●「たじりさんのコロッケおいしいで」	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <h3>㊦ ゲームを通してお金の使い方を考えよう</h3> </div>		
25分	マネータウン☆チャレンジ(ゲーム)の説明 1ターン目のみ解説しながら実施 10ターン実施→ゲーム終了(結果発表)	・ゲームのルールを聞いて分からない児童が多いため、1ターン目のみ説明しながらの実施。黒板にもルールを示す。
10分	チームごとに結果に即した分析を行う ●もっと株券買ってよかったね ●安い物ばかり買っていたね ●あのお店で一度も買い物しなかったね	◇ゲームや話し合い活動に積極的に参加している。【主体的に取り組む態度】 ・第2回のゲームに向けた工夫が行えるように、実施したゲームの反省点と考えたところを話す。
6分	まとめ ふりかえり	◇個人とお店の間にあるお金の循環に気付くことができる。 【知識・技能】

ゲームを通した子供の変容

Y.S 「お金を必要なものに使わないといけないから、正しく使うことを学んだ」

保険にはたくさんの種類がある。

以前はお金をたくさん使っていた→お金のことを知れた。お金稼ぎは仕事をしないとできない。→お金を大切に使うってこうと思う。